



TOYOHASHI PUBLIC HALL

豊橋市公会堂



空襲、終戦、そして復興、豊橋の歴史を静かに見守ってきた。



## 沿革

1921年(大正10年)10月	名古屋電燈株式が豊橋電気株式との合併に伴い、公会堂建設資金の寄付を決定
1922年(大正11年)8月	臨時市会に公会堂建築案が提出される
1922年(大正11年)9月	市会騒擾事件により計画が一時頓挫
1928年(昭和3年)9月	大典奉祝記念として公会堂建設が議決される
1930年(昭和5年)7月	着工
1931年(昭和6年)8月	市政施行25周年にあわせて竣工
1945年(昭和20年)6月	市役所の機能が公会堂へ移転(～翌年1月まで)
1948年(昭和23年)10月	豊橋中央公民館という名称で使用(～S27年10月まで)
1969年(昭和44年)9月	1階を市民窓口センターとして使用(～S54年2月まで)
1998年(平成10年)9月	国の文化財登録原簿に登録
2001年(平成13年)1月	外壁等大規模な改修が完了(H11年着工)

## 歴史

大正デモクラシーの頃から全国各地で大規模な集會が開かれるようになりました。当時、豊橋で集會といえば東雲座などの劇場を臨時に利用しており、市民の間に集會施設を望む声は徐々に高まってきました。

大正10年、第一次世界大戦後の恐慌下で公会堂建設のチャンスが巡ってきます。名古屋電燈株式が豊橋電気株式との合併に伴い、公会堂を寄付することが決まったからです。この合併にあたっては、電灯料の値上げ等の不安から、市民の間に反対運動が起こりました。公会堂の寄付は、これに対する妥協策の一部とし

て、市民と名古屋電燈との間で合意されたものです。

それに伴い、翌大正11年8月、公会堂建設案が市会に提出されました。しかし、その予算案には、建設予定地にあった八町高等小学校等の移転とそれに伴う付加税も盛り込まれたため、激しい反対に会い、計画は一時頓挫しました。

昭和3年9月、この年に行われる大典(天皇即位式)奉祝記念事業として、ようやく公会堂建設が決まりました。そして、昭和6年11月、1524人(※)を収容する大集会室をもつ待望の公会堂が完成しました。この年は、市政施行25周年の記念の年でもありました。

市内電車の通るメインストリートに位置する公会堂は、ロサンゼルスオリンピック(昭和7年)で優勝した水泳選手「清川正二」の激励会をはじめ、各種催しが行われ、市民の集いの場として大いに利用されました。

昭和6年は、折りしも満州事変の始まった年でもありました。その頃、吉田城址には、歩兵第18聯隊の本営があり、豊橋は軍都と呼ばれていました。戦争が始まると、将兵たちは、軍旗を先頭に公会堂前を行進し、出征していきました。戦争が激化すると、戦災を避けるために市役所の機能が公会堂に移転し、一時、業務を中断しました。

昭和20年6月、豊橋空襲によって市街地の約90%が焼失しましたが、公会堂は戦禍を免れ、終戦を迎えました。

昭和21年8月、公会堂で豊橋復興音頭発表会が開催されました。大階段から焼け野原になった市街に向けて、「ドント繰り出せ豊橋の〜♪」と熱気ある歌声が響き渡りました。

その後、クラシックコンサート、演劇、バレエ公演などが次々と開催され、豊橋市公会堂は、文化の中心として、復活を遂げました。

現在もホールは、一般に有償で貸し出されており、講演会、日本舞踊公演、カラオケ発表会など年間を通して幅広く利用され、市民に親しまれています。

※現在は、601席に改装されています。

参考文献:「豊橋めぐり」(東三文化会発行 吉川利明 1982年)・「豊橋市百年史」(豊橋市発行 2008年)・「愛知県の近代化遺産」(愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室 平成17年)



豊橋復興音頭発表会(大階段にて)



## 意匠

建物の正面に立つと、まず目を引くのが、来場者をホールへと導く外階段です。その階段を上りきると、5連のアーチが迎えてくれます。エントランスを挟んで立つ左右の塔の上には、幾何学模様のドーム型の屋根があり、2つのドームそれぞれを4羽の鷲が囲んでいます。

公会堂の建築様式については、様々な見解がありますが、一般にロマネスク様式を基調にしているといわれています。しかし、塔の上のドームやそれに施された幾何学模様はイスラム風のようにあり、また、公会堂の塔がウィーンに建つ「セセッション館」に似ていることから当時、日本で流行していたモダン建築セセッションの影響との見方、あるいは、スパニッシュ様式という見方もあるようです。

豊橋市公会堂の正面入口部分の意匠は、アメリカのテキサス

州に建つサン・アントニオ市公会堂との類似が指摘されています。類似点は、①5連のアーチ型のエントランスや、②それをはさんだ形の左右の塔、③その上のドーム、さらに④ドームに描かれた幾何学模様や、⑤壁面頂部のアーチ型の帯、⑥正方形に伸びる塔上部の角を削っているところ等、細部にまで及び、専門家でなくとも誰もがそっくりだと思うでしょう。

サン・アントニオ市公会堂は、当時の日本でも入手可能であったアメリカの建築雑誌に掲載されていたことが確認されており、中村與資平が設計の際、この建物を参考にした可能性があります。サン・アントニオ市公会堂に用いられている建築様式は、スペイン入植に伴い、アメリカにもたらされた建築様式を原型としているので、スペイン風であり、また、スペイン建築は、イスラムにも影響を受けているので、ドームの模様がイスラム風と見られるのも納得がいきます。その一方で、豊橋市公会堂には、ロマネスク風の素朴で重厚なデ



ザインを取り入れた部分も随所に見られます。

サン・アントニオ市の公会堂はなく、豊橋の公会堂に見られる特徴で顕著なものは、やはり、正面の大階段です。この階段は当時の豊橋市のメインストリートであった大手通の正面突き当りに位置し、都市景観の形成に重要な役割を果たしています。

この階段については、計画当時の豊橋市議員のお孫さんにあたる方から届いた1通の手紙から、その由来が明らかになりました。当時、市議は各地を視察し、もっとも素晴らしかった別府市の公会堂を参考にしたという内容です。建設当初の別府市の公会堂には、豊橋と同じく、正面に2階に続く大階段がありました。

以上のように、国内外の様々な建築に由来する要素を持ち、長年にわたって豊橋市の中心地で市民に親しまれてきた豊橋市公会堂ですが、多様な要素が破綻無く組み合わせられた意匠は見事であり、大階段も驚も市のシンボリックな建物としての役割を果たすのに十分な風格ある勇姿を演出しています。

参考文献:伊藤晴康「豊橋市公会堂の意匠におけるスパニッシュ・コロニアルリバイバルの影響について」豊橋創造大学短期大学部研究紀要第19号  
平成14年3月

## 設計者 / 中村與資平 [なかむらよしへい] (1880~1963)

公会堂の事務室には、1枚の立面図(複写)が飾られています。これには、「豊橋市公会堂設計 立面図ノ1 1930年4月 中村工務所」とあります。中村工務所とは、明治から昭和にかけて朝鮮半島、中国、日本で活躍した建築家 中村與資平の事務所のことです。

中村與資平は、1880年(明治13年)に静岡県浜松市に生まれました。1905年(明治38年)、東京帝国大学建築学科を卒業すると、日銀本店、東京駅等の設計で知られる建築家辰野金吾が主宰する辰野葛西事務所に入りました。

入所3年目に、転機が訪れます。辰野から第一銀行韓国総支店(後に朝鮮銀行本店として竣工、現在の韓国銀行 韓国史跡第280号)の設計を任せられたのです。この仕事は、中村が朝鮮半島に渡るきっかけとなり、大陸での活躍の足がかりともなりました。

この仕事を終えると、中村は、ソウルに事務所を開設。朝鮮銀行本店の工事で得た信頼と実績を生かして、朝鮮半島及び中国で、銀行、教会、学校等数々の建物を手がけました。

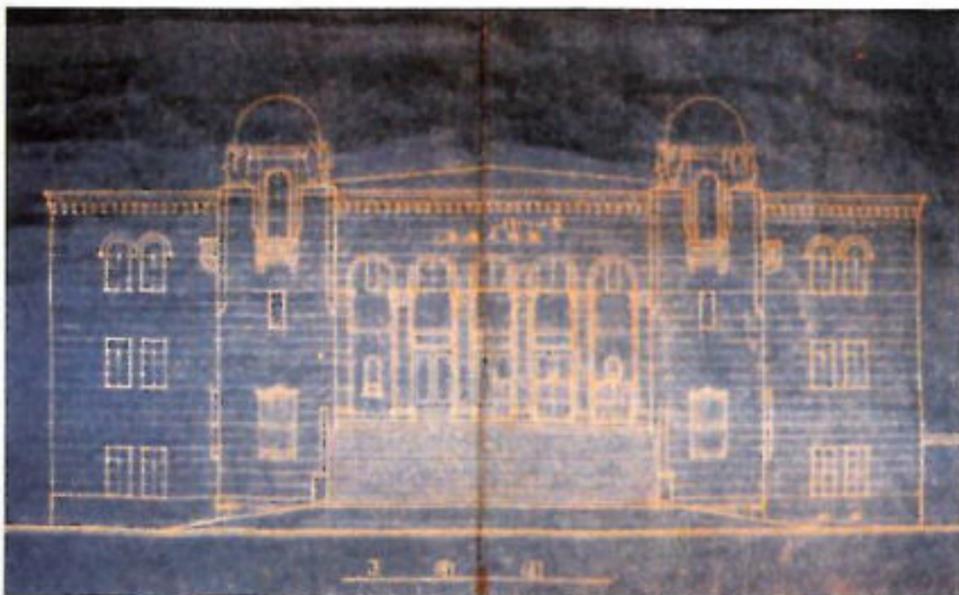
1922年(大正11年)、海外での実績を持って帰国。東京に中村工務所を開設しました。以降、東京や静岡県を中心として全国に、銀行、学校、庁舎、公会堂などを数多く設計し、豊橋市公会堂もこの時期に依頼されました。

1944年(昭和19年)、戦禍を避けて郷里浜松に戻り、戦後は、建築事務所の顧問をしながら、静岡県教育委員、副委員長として、教育に力を注ぎました。

### 主な作品

静岡銀行本店(国・登録文化財1998年登録)、静岡県庁本館(国・登録文化財2001年登録)、静岡市役所本館(国・登録文化財1996年登録)、浜松市公会堂(1986年に解体)、徳寿宮美術館(韓国ソウル市)、天道教中央大教堂(韓国ソウル市)ほか多数

監修 / 西澤泰彦(名古屋大学准教授)



豊橋市公会堂設計 立面図ノ1(正面図)1930年4月 中村工務所

## 概要

敷地面積	● 4039.22㎡
建築延面積	● 2948.27㎡
開設	● 昭和6年8月24日
構造	● 鉄骨鉄筋コンクリート 3階建
高さ	● 16m
総工費	● 170,588円
設計	● 中村工務所(中村與資平)
施工	● 松村組

## 散策マップ



## 豊橋市公会堂

〒440-0806 豊橋市八町通二丁目22番地  
市内電車「市役所前」電停よりすぐ

TEL (0532) 51-3077 / FAX (0532) 51-3078

### 発行

指定管理者 財団法人 豊橋文化振興財団

TEL (0532) 61-6145 / FAX (0532) 63-2551

ホームページ ▶ <http://www.bunzai.or.jp/>